

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

Les Clefs d'Or Japan

Key News



2024年4月 第66号

発行：今泉愛子

編集：田中英司 嵯峨崎のぞみ 米谷紗央里 増田悟

Website : lesclefsdorjapan.com



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

箱根DMO主催 ラグジュアリーホテルコンシエルジュ 箱根FAMトリップ

文：田中 あかね

2月27日10:00にメンバー数名で小田原駅にて集合。箱根は数日前の大雪も嘘のような快晴に恵まれ、箱根DMO佐藤様と久しぶりの再会となりました。一同はバスへ乗り込み、いざ箱根へ移動。40分ほど車で移動ののち、小涌園の天悠へ到着。入口には足湯コーナーも設置されていて、玄関横にはフォトスポットとして、箱根の大文字を望む景観をバックに写真が撮れたり訪れる人が思い思いの記念写真を撮ることができるようになっています。



貸切風呂エリア森の湯、別邸やすらぎへ。こちらには貸切家族風呂が6部屋、オンラインで事前予約も可能。近くにはファミリー層をターゲットにした箱根ホテル小涌園もあり、こちらでは自動チェックイン・アウト、自動荷物預かり、キャッシュレスなどの最新の設備が備えられていました。

強羅花壇に12:00到着。春の訪れを感じさせる素晴らしい懐石ランチに舌鼓を打った後、光永様の案内で館内を視察。強羅花壇でも有名な中廊下は奈良の長谷寺をモチーフにした造りになっており、瓦でできた床が特徴的です。最近では、鮎よしたけ監修にて、鮎花壇も新しくオープンしました。

強羅花壇より車で5分ほど移動し、円かの杜へ到着。館内はすべて畳敷き、建物自体や家具などにも自然の木をふんだんに使った女将のこだわりを感じることができます。20部屋全室に露天風呂完備、つかず離れずのサービスを心がけていらっしゃるという旨いことを伺いました。宿泊者のみが利用できる京懐石のレストランには、世界初の水素調理器具を導入しています。さらに、車で移動すること10分、一同は彫刻の森美術館へ到着。限られた時間ではありましたが、SNSで有名になった幸せを呼ぶシンフォニー彫刻へ急ぎ、憧れのガラス芸術の中で記念撮影ができました。

箱根プリンスホテルに16:00到着後、意見交換会へ。今回の発起人である佐野様より、箱根の概要とセールスポイントの紹介をいただきました。箱根は自然を満喫しながら公共交通機関で



まわることができ、温泉が有名で、訪れる価値のある美術館が点在するエリアであることが特徴で、新しく箱根デジタルマップ、箱根旅観光マップなどのアプリもでき、各地の混雑状況などもわかるようになってきています。最近では、キャリアケースの当日配達サービスなども始まり、ローカルガイドやまぼうしの金子氏によりますと、箱根を訪れる訪日外国人の75%は日帰りだそうです。

中には箱根にハイキングを目的とした方もいらっしゃる様子で、公共交通機関では回れない箱根八里旧東海道の案内にも力を入れ、隠れた人気となっているとのことでした。金子様は100年以上の歴史を誇る“甘酒茶屋”の付近をお勧めコースとしてよくご案内なさるそうです。

登山ハイヤーの斎藤様からは、車の手配は前日までにしたほうが良いとアドバイスがありました。当日即時だと手配が叶わないことが多いそうです。現状、箱根を訪れる人は、マイカーもしくは電車が殆どで、実際ハイヤーの依頼は1割に留まっているとのことでした。代わりに乗合いタクシーや軽EVタクシーの導入などで、混雑軽減やサービス供給を試みているそうです。温泉利用時のタトゥーに関しては、現地の保健所は各施設の判断に委ねることになっているようで、ご案内の際は必ず事前の確認をしたほうが良いとのことでした。



翌日、2月28日8:45よりガイドの金子様によるウォーキングツアーを体験。朝の静寂の中、50分ほどの九頭竜セラピーロードを散歩に出発しました。途中、隠れた桜の名所箱根九頭竜の森なども紹介



してくださいました。また、芦ノ湖の西側には5時間くらいのハイキングコースもあると教えていただきました。

その後金乃竹茶寮に移動。こちらは金乃竹グループが新しくオープンする、予約可能な計6部屋の日帰り家族風呂専用施設です。さらに金乃竹仙石原も新しくオープンし、ラグジュアリーな空間としてご予約可能な施設です。

ポーラ美術館を見学の後、富士屋ホテルで昼食。歴史あるホテルの伝統的な設えに感動を覚えつつ、箱根吟遊へ移動し素晴らしい景観を望めるロビーを拝見しました。最後箱根湯本へ戻り、箱根芸者のいる箱根湯本見番にて現在の芸者衆の活動を拝聴の後、一同小田原より帰途へつきました。

前回より、箱根も現在のインバウンドへの対応に大きな変化を感じた視察となりました。今後も定期的に意見交換することによって、更なるスムーズなご案内ができることになると実感できた実りある貴重な機会になったと感じました。

ルグラン・フィーユ・ エ・フィス東京視察

文：嵯峨崎 のぞみ

2022年東京広尾にオープンした、パリのパレ・ロワイヤル近くに本店を持つ、LEGRAND Filles et Fils Tokyoにご招待を受けて、メンバー数名ずつ2回に分かれて伺いました。外商ニコル・ジュリアン様に案内して頂きながらお話を伺いました。

パリの本店は、1880年に創立した老舗のワインショップ、東京の支店はその本店のイメージを再現されており、1階にバーカウンターが設けられており、その時々にお勧めのグラスワインを楽しむ事が出来ます。その他1階にはテーブルのカフェスペースやテラス席があり、Bellvilleで焙煎されるコーヒーが堪能できます。地下1階のワインカーヴにはバックビンテージや希少ワインがあり、同じフロアにはサロンも完備しています。店内にはフランス各地のワインが約500本あり、お手頃価格でワインを購入する事が可能です。様々なワインイベントやワインを学ぶ場としても活躍しているルグラン・フィーユ・エ・フィス東京、これからも色々な方に愛されるお店として発展していくと感じました。



定例会

3月の定例会は、メルキュール東京日比谷にて開催されました。ホテル館内は劇場をモチーフにしたコンセプトで、アールデコ調に統一され、まるでシアターの中にいる様な空間に感銘を受けました。定例会の冒頭ではメルキュール東京日比谷総支配人、鈴木通晃様よりご挨拶を頂き、新しく入会されたアンダース東京の増田悟氏も加わり、多くのメンバーが一堂に会しました。

・4月に行われる能登半島地震義援金を募るオークションについて、また来年度のセミナーの内容について打ち合わせが行われました。ご出席いただきましたアフィリエイトの皆様、日の丸リムジン様、東京スカイツリー様、Global Blue Japan様、瀬里奈様よりそれぞれ近況報告を頂きました。

・ゲストスピーカーとしてTokyo Water Taxi様をお迎えし、ご提供されているサービスの紹介を頂きました。2015年創業時の12か所の船着き場から、現在40か所の船着き場での運営を展開され、6名乗りから8名乗りの水上タクシーを7隻保有されていらっしゃいます。普段と違う景色を楽しみながら、またペットも乗船可能なユニークな移動手段として利用する事ができます。お花見クルーズなど季節限定のプランもさることながら、最近ではグッドデザイン賞を獲得した高級クルーズ船を建造され、Omakase Dining Boat Kisen Hanareという船上レストランの運営を開始、懐石料理紀仙の若主人江口直樹シェフが繰り広げるお料理をカウンター席で堪能する事ができます。

4月レ・クレドール ジャパンの年次総会は、茅場町の貸会議室で行いました。

・2023年度の活動報告と、2024年度の活動計画の発表がありました。

・4月3日に台湾で発生した地震での被害に対しての義援金の寄付の呼びかけがありました。台湾メンバーには能登半島地震の際に義援金と勇気を頂いたので、少しでも恩返しが出来たらと思います。集まった義援金はバリのインターナショナルコンGRESSでプレジデントの今泉より、レ・クレドールチャイニーズタイペイのプレジデントへ手渡されました。

・午後には能登半島地震へ寄付をする為のチャリティーオークションが日本コンシェルジュ協会との合同で行われました。

